

KSC-1200F

High Frequency Hyper Digital Electoric Speed control

楽しく安全に走行させる為に、当説明書をお読みになりラジコンをお楽しみ下さい。

■ **取り扱い上の注意** 安全にご使用下されるために、特に注意する事柄です。

警告! この欄は、〔死亡又は重傷を負う可能性が想定され、高い頻度で物損事故が発生する〕内容です。

○本製品は地上用ラジコン模型を対象に製造・販売されております。*他へのご使用はおやめください。○受信機にサーボ・アンプ等のコネクタは確実に奥まで入れる。*走行中の振動でコネクタが抜けることがあります。○送信機のスイッチを入れる前に必ずバンド(周波数)が空いている事を確認する。*同じバンドを使用している人の模型が暴走して危険です。○雷の鳴っている所では走行させない。*送信機のアンテナに落雷の危険があります。○雨天や水たまりのある所では走行させない。*機器に水が入り暴走する事があります。○疲労・飲酒・服薬により集中力に支障をきたすような時には使用しない。*判断ミスにより思わぬ事故を起こします。○走行後必ず走行用ニッカドを外す。*誤ってスイッチが入った時、暴走したり火災の原因になる事があります。○送信機・電池・模型等は幼児の手の届かない所に保管する。*化学物質による被害を受けたり、けがの危険性があります。

注意! この欄は、〔傷害を負う可能性又は物損事故のみが発生する事が想定される〕内容です。

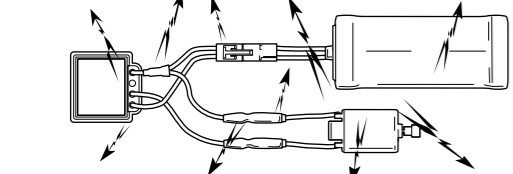
○ニッカド電池の極性は間違えない。*機器が破損します。○送信機・受信機・サーボ、その他オプションパーツは必ず当社純正品を使用する。*当社純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては当社では責任を負いません。○電源を入れる時は(送信機→アンプ)の順で、切る時は(アンプ→送信機)の順で行う。*順序を逆にとると受信機がノイズを受けて暴走する事があります。○走行後モーター・アンプ等熱くなっている所に触れない。*やけどする事があります。

ラジコン模型の性質上、お客様が当製品を使用されました結果につきましては弊社では責任を負いかねる事があります。あらかじめご了承下さい。

■ 取り付け方法

●シャーシ・メカプレートに KSC-1200F を両面テープで固定します。

注意! 可能な限り、KSC-1200F はアンテナ線・受信機(特にクリスタル部分)からはなれるよう搭載して下さい。



アンプ・モーター・走行用ニッカド・シリコンコード、これら大電流が流れている所は全てノイズを発生してるとお考え下さい。ノイズは電波の一種なので輻射(空間に飛び出す)されます。ですから発生源にアンテナを近づける事は、わざわざノイズを拾うようなものです。高周波アンプは受信機の搭載位置がとても重要です。アンテナとシリコンコードが交差していたり、アンプと受信機やアンテナポストが密着していると、ノイズを拾いやすく誤動作などの原因となります。

*各コード類(受信機コネクタ以外)もアンテナ・受信機から可能な限り離して下さい。

警告! 受信機・サーボ・スイッチ等のコネクタは確実に奥まで入れる。

■ オーバーヒートについて

●アンプは温度上昇により効率が下がります。

温度上昇を押さえベストコンディションを保つために付属のヒートシンクを取り付けると効果的です。

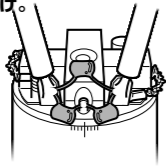
過負荷による発熱で内蔵のヒートプロテクターがはたらくと、故障を防ぐために動作を停止します。温度が下がれば自動的に復帰し走行することができますが、適正なギヤ比、モーターや駆動系など車の整備状態をきちんと整備してから走行させましょう。

■ モーターメンテナンス

●モーターから誤動作の原因であるノイズが発生します。

○(別売り)ノイズキラーコンデンサの取り付け。

KSC-1200F は高周波アンプです。高周波のノイズをおさえるためにノイズキラーコンデンサをご使用になるモーターに取り付けて下さい。



注意! 適正なギヤ比、モーターや駆動系など車の整備状態をきちんと整備して下さい。*過負荷でヒートプロテクターがはたらき動作が停止します。

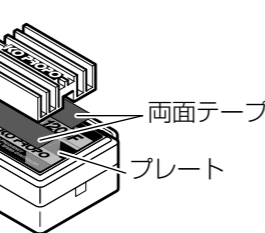
注意! ショットキーダイオードの向きを間違えて接続するとアンプが破損し修理不能になることがあります。

○付属のショットキーダイオードの取り付け
ショットキーダイオードには極性があります。プラス側に印の有るほうを取り付けてください。(この時、+側端子はアンプの赤いリード線を接続する端子です。)



注意、取り付けの際極性に十分に注意をしてください。

注意! 搭載ができたなら必ず標準設定を行なって下さい。*標準設定を行わないと正常な動作をしない事があります。



○ヒートシンクの取り付け。

安全のため、走行用ニッカドをはずします。プレート面とヒートシンクのほこり、水分、油分などよくふき取って下さい。油分はアルコールで落とします。ヒートシンクに付属の両面テープの片面のはく離紙をはがしヒートシンクに貼り付けて下さい。もう片面のはく離紙をはがし、プレート面に貼って下さい。

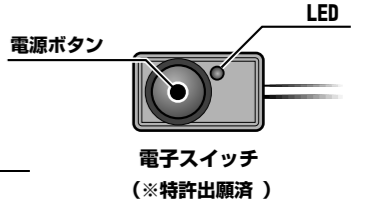
■ 取扱説明書

このたびは KSC-1200F をお買い上げ頂きありがとうございます。

KO PROPO

■ 電子スイッチについて

- KSC-1200F の電源ボタンは従来の機械式スイッチの欠点であった接触不良を改善した電子スイッチです。
- 電源を入れる コネクタ類の接続を確認します。走行用ニッカドは充電の完了したものを接続して下さい。送信機にニッカドを使用する場合は使用前に充電し、乾電池の場合は残量が充分あることを確認します。電源を入れるときは、電源ボタンを LED が点灯するまで押し続けます。*さらに押し続けると設定モードに入ってしまう。
- 電源を切る 電源を切るときは、LED が消灯するまで電源ボタンを押し続けます。

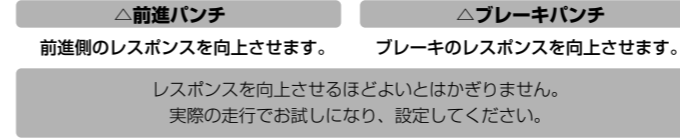


警告! 使用しないときは必ず走行用ニッカドをはずして下さい。*誤ってスイッチが入った時、暴走したり火災の原因になる事があります。

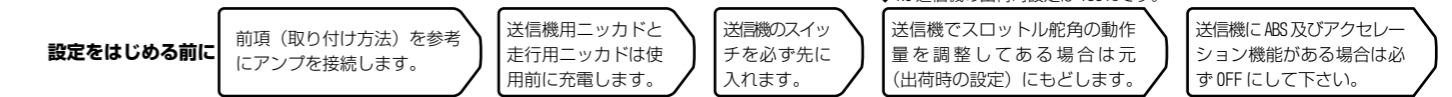
注意! **重要** 電源を入れるときは(送信機→アンプ)の順で行う。切るときは(アンプ→送信機)の順で行う。*順序を逆にすると、受信機がノイズを受けて暴走する事があります。

■ セットアップ

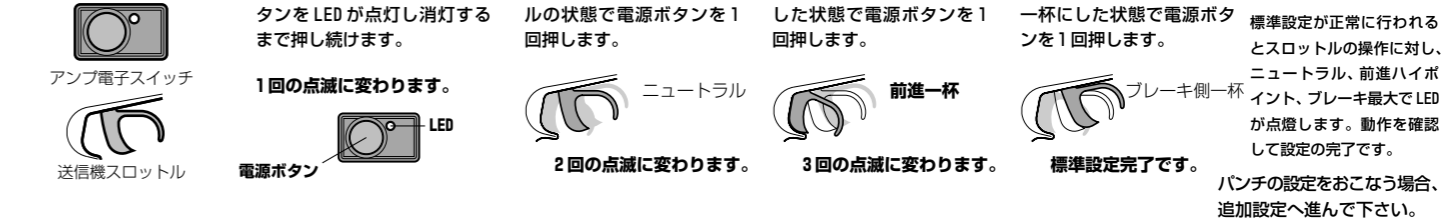
●【△前進パンチ及び△ブレーキパンチの設定】をおこないます。



●はじめに標準設定をおこないます。

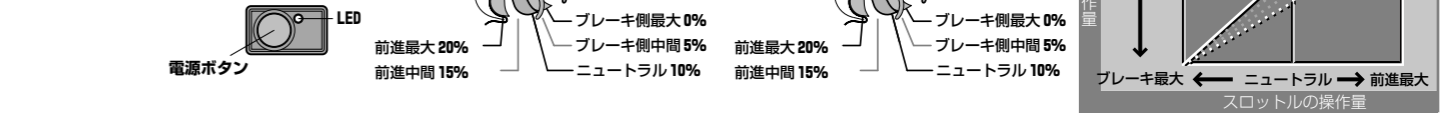


■ 標準設定

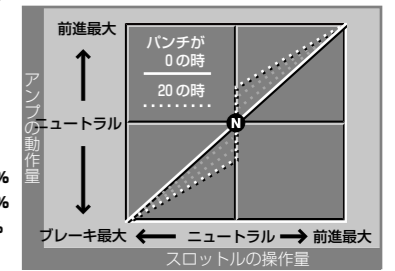


■ 追加設定

- 必ず標準設定を一度完了させてからおこなって下さい。途中で設定を間違えた場合は一度ニッカドのコネクタをはずして、はじめから設定をやり直して下さい。
- 電源 OFF の状態から電源ボタンを LED が点灯し消灯し、さらに点灯するまで押し続けます。電源ボタンを離すと 1 回の点滅に変わります。
- アンプの前進パンチ動作量を下記の 0% ~ 20% の中で選択します。スロットルで下記の何れかを選択し、スロットル位置を保った状態で電源ボタンを 1 回押します。
- アンプのブレーキパンチ動作量を下記の 0% ~ 20% の中で選択します。スロットルで下記の何れかを選択し、スロットル位置を保った状態で電源ボタンを 1 回押します。



追加設定が完了しました。
*パンチモードの設定を変更する際には、標準設定からやり直して下さい。



■ 修理について

●こんな時は...

- 長時間の使用でコネクタが熱くなり溶けてしまったり変形した場合にはコネクタの接触不良が考えられます。またコネクタのピンが黒ずんで汚れている場合にはコネクタが接触不良を起こしています。*コネクタ及びシリコンコードを交換してください。
- ケースが異常な発熱によって変形してしまった場合には、内部の部品も熱によって劣化していることが考えられます。*修理に出して点検することをお勧めします。
- KSC-1200F の内部に水が入ってしまった場合には、直ちに水気を飛ばし風通しの良い場所で乾燥させてください。*水の侵入によって内部の部品が劣化していることが考えられますので乾燥後は使用せず修理に出して点検することをお勧めします。

●調子が悪いときは

- もう一度、この説明書をざらになってお調べ下さい。●それでも解らない場合は当社サービス部へお問い合わせ下さい。サービス部にご相談の際は故障の状況を下記の内容を参考にできるだけ詳しくお知らせ下さい。
- お使いの(送信機・受信機・サーボ・モーター・走行用ニッカド・車)の名前 □故障してしまった時の使用状況と故障の内容、症状 □お客様の住所、氏名、連絡先電話番号
- 修理を依頼される時は、上記の内容をできるだけ詳しく書いたメモを必ず一緒にお送り下さい。

近藤科学株式会社 サービス部

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 4-17-7

お問い合わせは **Phone:03-3807-7751** 受付時間:月曜日~金曜日(祝祭日を除く)9:00~12:00,13:00~17:00

■ テクニカルスペック ※データは各パーツの定格データに基づく

- | | | | |
|-----------------|------------------------------------|--------------------|--------------------|
| ●制御方式:CPUコントロール | ●適正電源電圧:7.2~8.4V | ●受信機用出力電圧:6V | ●寸法:32.5×33×17.5mm |
| ●瞬間最大電流:1200A | ●ドライブ周波数:1KHz | ●受信機用出力電流:2A(瞬間最大) | ●総重量:47g |
| ●連続最大電流:300A | ●対応モーター:市販の電動カー用モーター(使用条件により異なります) | | |